

10・22中央集会

医療改善求め4000人が結集

新政権に社会保障施策の早期実行を迫る

4000人を超える医療・介護労働者が会場を埋め尽くした。社会保障費を増やし、国民のための医療・介護へ転換を求める中央集会が10月22日、東京・日比谷野外音楽堂で開かれた。保団連などがつくる実行委員会が主催した。

協会からは伊津進弘理事長、小山榮三理事・相談役、古田光行、宮本辰雄両監事、事務局が参加。会場は、新政権に後期高齢者医療制度廃止など医療・介護・社会保障施策の早期実行を迫ろうと、参加者の熱気に包まれた。

3議員と懇談

中央集会に先立ち、協会は厚労省がレセプトオンライン請求義務化の省令「改正」案を公表したことを受け、「義務化」から「原則化」に改めるとした政権公約の誠実な実行などを求め、地元選



4000人の参加者が会場を埋め尽くした＝10月22日、東京都内

新政権発足後の協会の取り組み

【国会議員懇談】

9月29日	民主、平野博文内閣官房長官秘書（歯科医療改善、海外技工について）
10月9日	民主、稲見哲男衆院議員（自主共済について）
10月9日	共産、宮本岳志衆院議員（自主共済について）
10月16日	民主、長尾敬衆院議員（後期高齢者、オンライン、租税特措法、自主共済について）
10月20日	民主、梅村聡参院議員秘書（歯科医療改善、海外技工について）
10月22日	民主、大谷啓衆院議員（後期高齢者、オンライン、租税特措法、自主共済について）

【国会要請】

9月16日	鈴木寛議員（民・参）、森山浩行議員（民・衆）、村上市好議員（民・衆）、萩原仁議員（民・衆）、辻恵議員（民・衆）、宮本岳志議員（共・衆）と面談
10月8日	長尾敬議員秘書（民・衆）、辻元清美議員秘書（社民・衆）、吉井英勝議員（共・衆）と面談。吉井議員に「保険でよい歯科医療を求める請願署名」500筆、自主共済の署名668筆を提出
10月22日	竹本直一議員（自・衆）、長尾敬議員（民・衆）、山下芳生議員（共・参）と面談

【集会】

10月22日	「レセプトオンライン請求義務化撤回を！」緊急国会内集会。参加者150人。谷博之議員（民・参）、松崎哲久議員（民・衆）、阿部知子議員（社民・衆）、高橋千鶴子議員（共・衆）、首藤信彦議員（民・衆）、吉田統彦議員（民・衆）、初鹿明博議員（民・衆）、高邑勉議員（民・衆）が参加
10月22日	「社会保障を増やして、国民のための医療・介護へ転換を！」10・22中央集会。参加者約4000人。山崎摩耶議員（民・衆）、阿部知子議員（社民・衆）、小池晃議員（共・参）が参加
10月25日	「入れ歯が危ない 保険で良い歯科医療を」10・25決起集会。参加者418人。初鹿明博議員（民・衆）、小池晃議員（共・参）が参加

2010年診療報酬改定

中医協日医推薦はなし

長妻厚労大臣は10月26日、10月1日で任期切れとなり空白となっていた中医協委員6人を公表した。

診療側の委員について、長妻氏が開業医の意見が強く反映するとして日医の推薦を受け付けない方針を示していたとおり、日医枠は認めず、医師関係からは安達秀樹氏（京都府医師会副会長）、鈴木邦彦氏（茨城

県医師会理事）、嘉山孝正氏（山形大学医学部長）の3人が新たに選ばれた。診療側からはほかに三浦洋嗣氏（日本薬剤師会理事）を新任する。病院関係の西澤寛俊（全日本病院協会会長）、遠見公雄（全国公私立病院連盟副会長）はそれぞれ再任する。歯科の渡辺一雄氏（日歯常務理事）は非改選。中医協は、自民から民主へ、開業医から病院へ、の思惑が見て取れる人事となったが、次期改定が歯科医療の危機を打開するものとなるかどうかは見えてこない。

いう持論を展開。しかし、同制度の廃止は否定した。レセプトオンライン化の問題では、義務化撤回に賛同した。長尾議員には、後期高齢者・レセプトオンラインなど、政権公約とブレが生じていることを指摘し、正すよう訴えた。同氏は、改めて大阪で懇談することを快諾した。山下議員は、自主共済問題について「公的保障の不十分な部分を補う役割を果たしてきた共済を潰すことは許されない。結局、アメリカや民間企業が共済という市場・利益を取り込むことがねらいで、郵政民営化や医療制度改革と根は同じだ」と指摘した。

要請後、衆議院議員会館内で開いた「レセプトオンライン請求義務化撤回を！緊急国会内集会」に参加。全国から150人が参加した。集会では、小山氏が「レセプトオンライン化の問題点

は、情報が社会保障カードに利用され、医療の適正化に繋がると警告を鳴らした。協会・保団連は新政権発足後、医療改善を求める大規模な取り組み（表）を展開している。

「医療承継は節税チャンス」

親子間の引き継ぎポイントを解説

組織部

・建物ともに親名義のままにし、賃貸借契約を結び、子が家賃を支払う

が考えられる。この中で③は、親が死亡したときに土地と建物の相続時評

期待高く241人受診



枚方こどもまつり・歯科健診

「むし歯がありますね。速やかに歯医者で診てもらってください」。早期発見を通じて住民の健康を守り、有病者には受診をうながすことを目的に協会の北河内地区が毎年取り組んでいる枚方こどもまつりでの無料歯科健診（写真）が10月25日、啓光学園内で取り組まれた。歯科健診コーナーは毎年盛況で、241人（子ども167人・大人74人）が受診した。保険で良い歯科医療の実現を求める署名は195筆寄せられた。出務

は、有地正・古賀明子両歯科医師と歯科衛生士4人、歯科技工士2人と事務局。両歯科医師からは、「子どもの半数近く、大人のほぼ全員にカリエスがあった。子どものほとんどがC0～C1で2～3人がC3～C4、大人は修復物の2次カリエスがほとんどでした」「大人で歯石のある人が4～5人、なかにはC4が4本という人もいた」と感想を述べ、健診の重要性和受診しやすい制度づくりの必要性を語った。

指導対策講習会

府下各地で順次開催



熱心に指導対策のメモをとる参加者＝10月10日、大阪市内

各地で開催している。年内に3会場で開く予定にしており、最新の情報を交え、会員に指導対策のポイントを周知する。社保研究部が10月10日にマイドームおおさかで開いた新規個別指導対策講習会では、近畿厚生局が過去実績の10倍以上と

なる261件の個別指導を進めようとしていることが明らかになったと報告。講師を務めた藤井佐都樹社保研究部副部長は、厚生局の人員面の問題を指摘し、「到底こなしきれない指導目標だが、いつ選定されても大丈夫なように、日常のカルテ記載などをきちんとしておく必要がある」と呼び掛けた。

今後の日程は次の通り。※講師はいずれも、社保研究部講師団。参加費は会員無料、未入会者1万円

堺・高石・和泉地区「いつ変わる個別指導」09年度計画から見えるもの」

【日時】11月11日（水）午後8時～10時

【会場】堺市民会館

（南海高野線「堺東」駅徒歩10分）

【定員】100人

北河内・大阪市東部・南部地区合同「オタムセミナー」次期診療報酬改定のゆくと個別指導

【日時】11月28日（土）午後6時30分～8時

【会場】OMM会議室（京阪・地下鉄「天満橋」駅から徒歩10分）

【定員】60人

北大阪・大阪市北部・三島地区合同「強化される個別指導への対策と2010年診療報酬改定」

【日時】12月19日（土）午後7時～9時

【会場】新大阪丸ビル新館609号室

（JR「新大阪」駅東口から徒歩2分）

【定員】60人